



# まちづくり計画の方向性と 可能性調査の実施について

令和元年5月29日



## 第2回策定委員会の目的

- 第1回策定委員会での委員意見と地域住民の意見並びに委員からの新たな提案を基に、まちづくり計画の方向性について協議
- 今後の議論の方向性を確認

## 地域住民の意見について

---

地域住民の理解が必要(美濃委員)

地域住民の腹落ちが必要(石原委員)

地区内の名所を駅を核として線で結ぶような案を示していきたい(平井委員)

北日野地区には歴史などの資源がある(河端委員)

周辺各町意見交換会の結果を土台に地元の意見や知恵を集める必要がある(大塚委員)

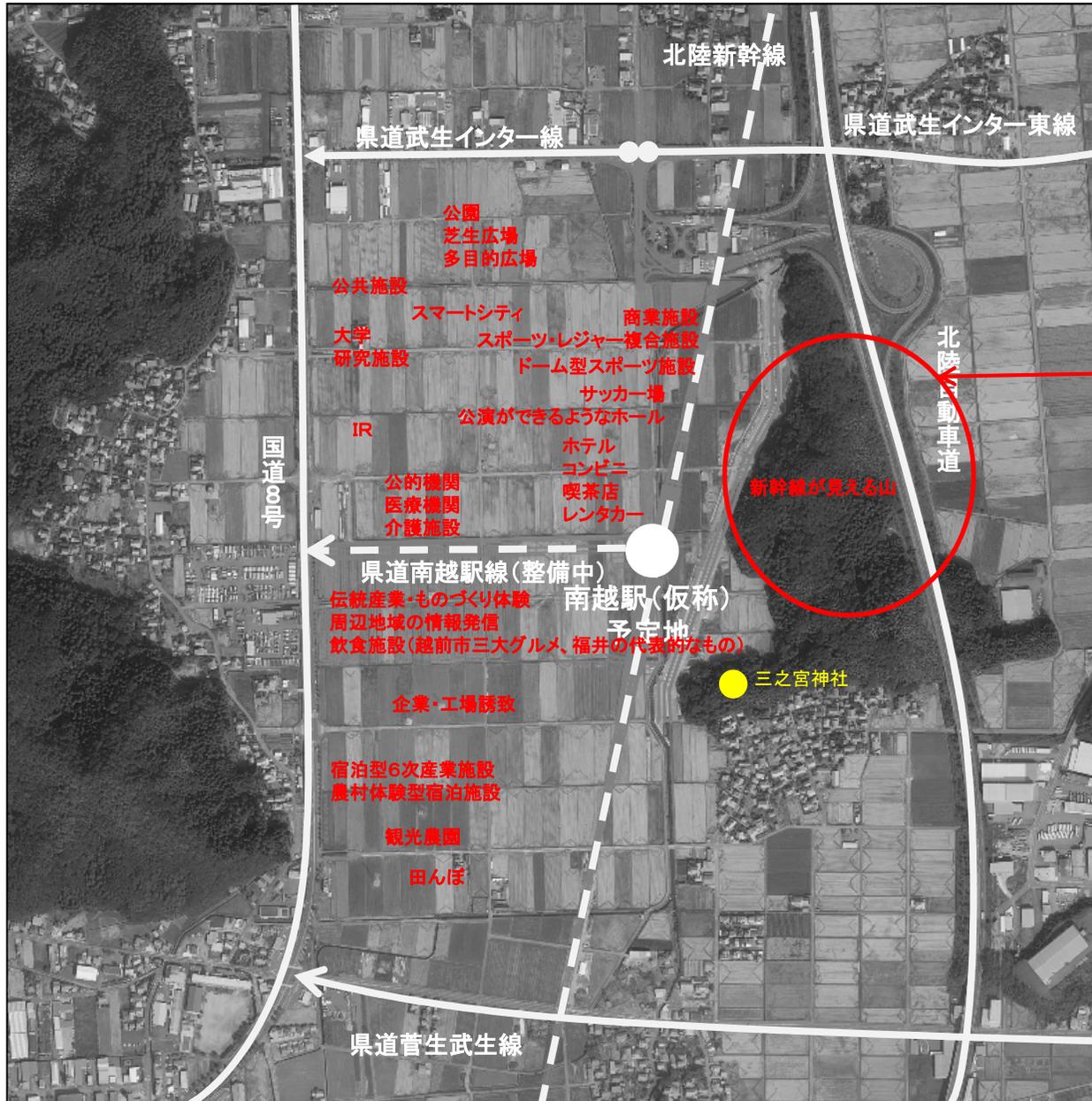
---



## 住民代表(まちづくり協議会役員)からの意見

# 南越駅周辺まちづくり協議会 まちづくり計画（案） 駅周辺

この計画(案)は、こういった施設が必要ではないか、適しているのではないかと、いうまちづくり協議会からの提案である。



## 岩内山の段階的整備

1 木を伐採し登山道と新幹線が見える視点場の整備



桜の木や菊の花を地元ボランティアで整備していく  
高速道路も見えるようにする

2 遊歩道や史跡の案内看板等を整備し、史跡を活かした展望台に

三之宮神社も遊歩道で結ぶ  
将来的な公園としての整備や、高速道路からのアクセスも検討

空中写真:越前市

## 住民代表(まちづくり協議会役員)からの意見

一度に開発が進むとは考えにくいので、当面農業との共存になるものと考えられる。そのため、開発に際しては次のことに留意する。

- ゾーニングによる一定のルールを設ける
- 残る田の営農に支障をきたさないよう、計画的で段階的な開発を進める(虫食いの開発はしない)
- 開発に伴い排水量が増加するため、放流先の水路の整備等、残る田の営農に支障が無いよう配慮する

# まちづくり計画の方向性について

---

新しい仕掛けが自立しサステイナブル(持続可能)なものに(龍田委員)

経済性+ $\alpha$ が必要。持続可能な世の中も+ $\alpha$ のひとつ(南保委員長)

具体的で実現可能なものを(西藤委員)

次世代に誇れるものを(大塚委員)

商業施設には事業性が必要(岡本委員)

越前市が元々持っているポテンシャルの挿入(下川委員)

他地域との比較ではなく越前市のいいところの発信(酒井委員)

丹南地域を包括した考えが必要(美濃委員)

---

## 幹事会提案

**「持続可能」(Sustainable)・「実現可能」(Feasible)と丹南地域を踏まえた「越前市らしさ」を計画の方向性の軸としてはどうか**

---

参考:SDGs (Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標

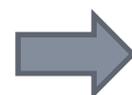
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす17分野の目標



# 越前市らしさ

## ものづくりのまち

先端産業と伝統産業の共生  
都市と自然・田畑の共生  
多文化との共生



共生のまち

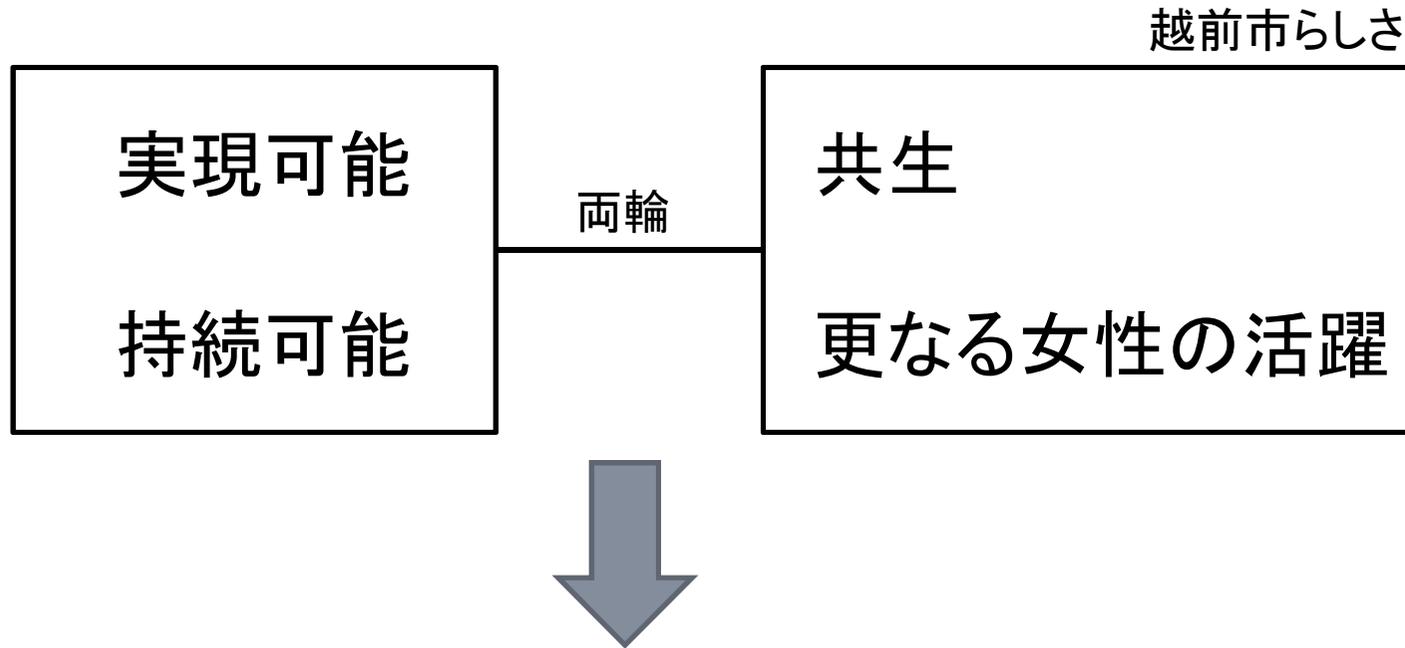
女性が輝くモノづくりのまち～子育て・教育環境日本一～

越前市総合戦略より



第1回策定委員会資料より

# 南越駅周辺まちづくり計画の方向性について



令和5年春の北陸新幹線南越駅(仮称)の開業を契機として、  
越前市の未来を担う拠点を創造する。

具体的には、「新たな産業」や「外国人を含む市内外人口との  
交流の場」を創造する。

# 共生のための機能 ①

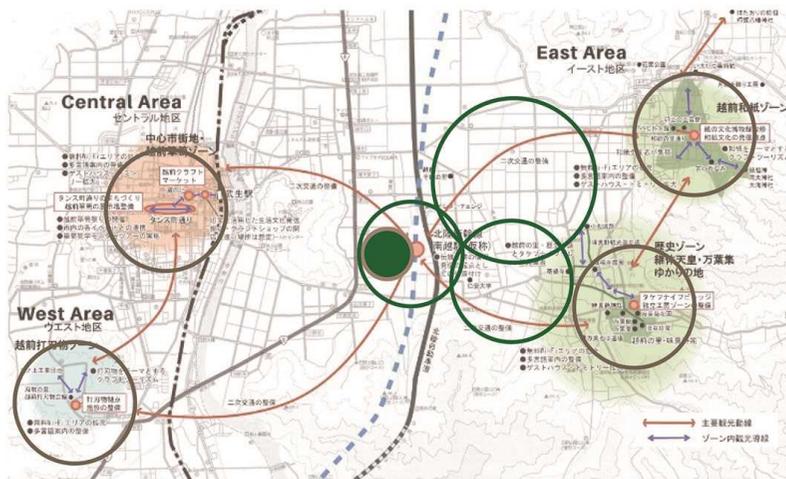
農業の付加価値を高めては(龍田委員)

山、川、田畑という恵まれた自然条件との共生

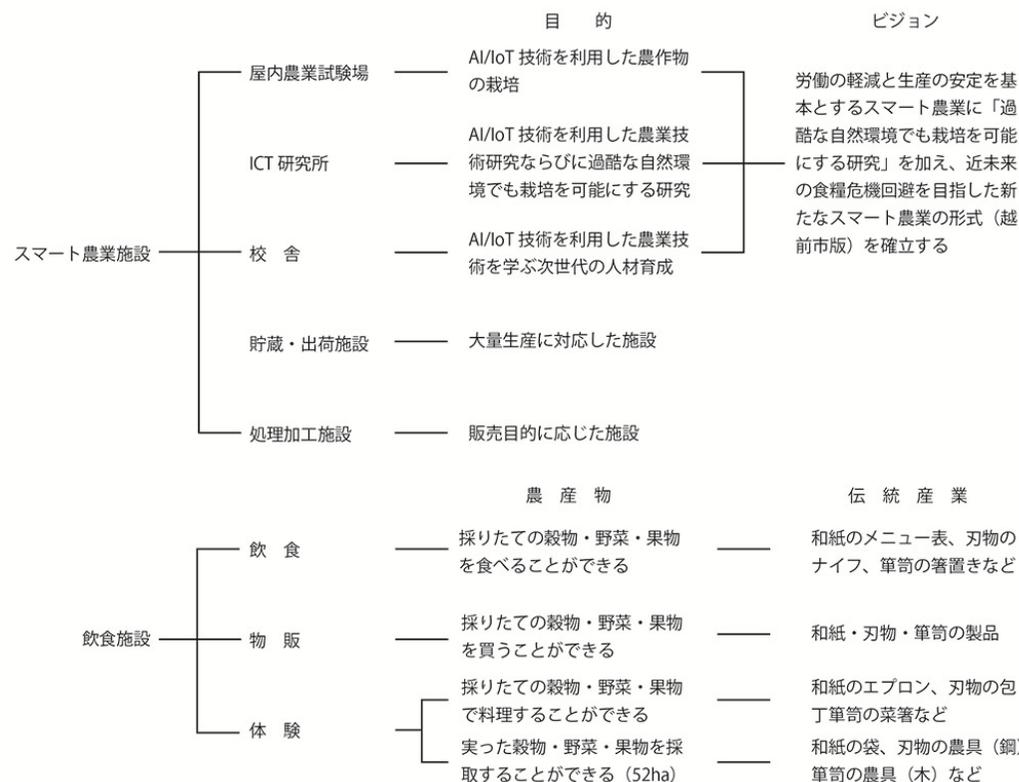
例えば

- 農業体験ができるような施設と、水田に浮かぶような宿泊施設
- ハイテク技術を用いた農業施設とそれに相性のいい施設
- 登山、水辺、パラグライダーといったネイチャースポーツをテーマにしたような施設

## 下川委員からの提案: 農業を中心とした産業・歴史文化の構成・交流拠点



○ 農業の興隆エリア      ○ 歴史文化の興隆エリア



## 共生のための機能 ②

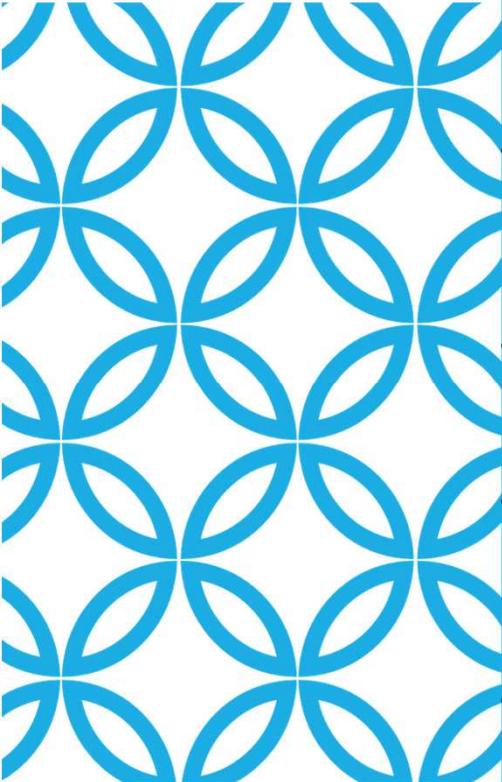
ワンストップではなくある程度の滞在型(美濃委員)

中心市街地や今立地区との共生

例えば

- 伝統産業と体験、伝統産業とアートを組み合わせたような施設と宿泊施設
- 伝統産業の産地や、周辺の歴史を訪問する起点となるような施設と宿泊施設

JR西日本福井支店からの提案:伝統工芸現代美術館



### 伝統工芸現代美術館

- 器や皿などの製品として生産された伝統工芸商品を飾るのではなく現代アートの表現方法の中に伝統工芸の技術が組み込みこまれた現代アート作品を美術館内で展示する
- 館内の展示物は写真撮影をOKとして、SNS等で拡散をしてもらうようにする
- 美術館内では、本物の職人が教えてくれる本格的な伝統工芸の体験ができる場所も併設されていて、体験者は丹南エリアに数日間滞在しながら体験を楽しめるようにする
- インバウンドを意識して館内には「茶室」を設け、抹茶の利用料金は入館料に含めることで、チケットの価値を高める

# 共生のための機能 ③

外から(住民以外)の意見が必要(三田村委員)

## 外国人との共生

例えば

- 日本語学校のような学習施設
- 日本人と外国人が共に楽しめるような交流センターやスポーツ施設

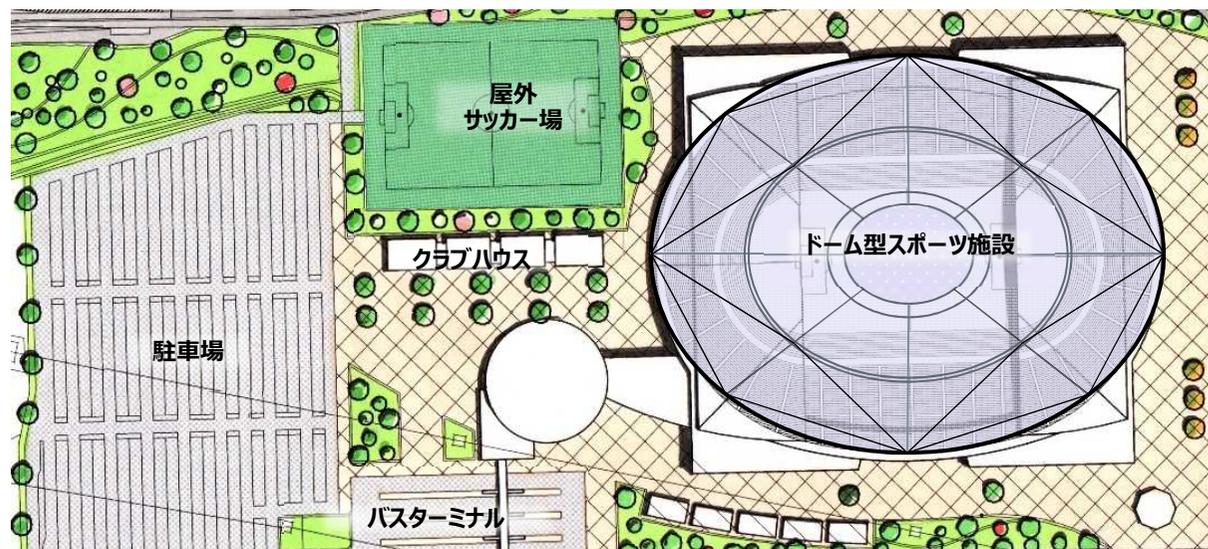
## 交流人口との共生

例えば

- 若者をはじめ県民がワクワクドキドキするようなスポーツやエンタメの施設

---

## まちづくり協議会からの提案:スポーツ施設



# 更なる女性の活躍に有益な機能

県外への購買力流出の改善(河端委員)

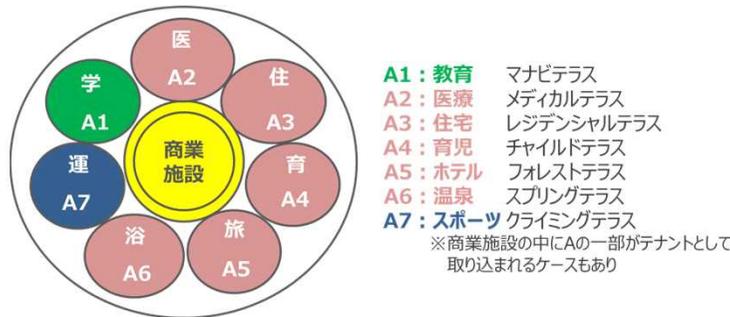
女性の活躍の場を拓けるような施設

- 地域の担い手を育てるような教育施設
- 少ない労力で生産性を向上させるようなAI/IoTの研究施設

第3次産業

- 中～大規模な商業・飲食の複合施設

## 山田委員からの提案: 大型商業施設を核とした広域交流型の施設をプラネット配置



キーワード : ウォークアブル、カンフォアブル、インターナショナル

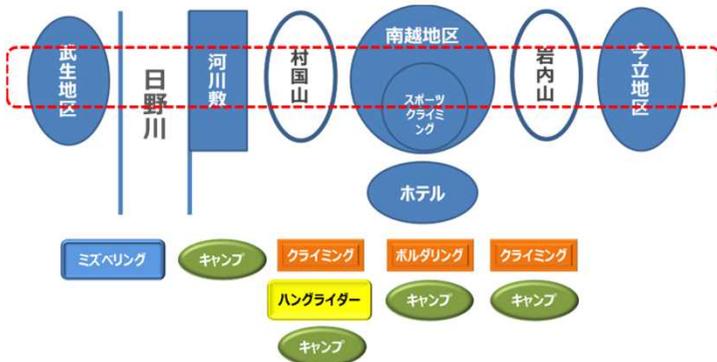
コンセプト : 「風格のマチ、ハイ幸福感のマチ、そして私のマチ」

山、川、田畑に恵まれた南越地区の自然を生き、「憩い」と「よりよい暮らし」の共生する新しい越前市の**生活拠点モデル**。それは北陸新幹線 新駅と北陸道の交差する**交通拠点**であり、武生地区・今立地区を結ぶ**サードプレイス**であり、福井県域の中心となる**商流拠点**であり、増え続ける在留外国人と地元との**国際交流拠点**である。

ここでは、商業施設を核として、あらゆるジェネレーションに向けたライフスタイルを提供するだけでなく、新しい文化創造を発信し、スポーツ・観光・滞在等多目的な流入客にも満足できる新開都市を目指す。

イメージ : フォレストテラスシティ

ゆっくりと時間の流れる林の中に各施設が点在し、その施設間を歩きながら楽しみながら回遊できる大型公園に抱かれたマチ。そこでは**shopping, rest, study, sports**が一体として機能し年齢を問わず、それぞれのライフスタイルを満喫できる場所。威圧感のないテラス様式の建物をベースとして、共用空間にはオートオブジェやイベント広場があり、短中期滞在しても楽しめる**マインド開放の地**。



## 駅周辺に必要な基本的機能

例えば

- コンビニ
- 喫茶店
- 宿泊施設
- レンタカー

---

## さらなる機能誘導に向け、 実現可能性・持続可能性を高めるために必要となる機能

例えば

- 日常の購買力を確保するための就労施設
- 日常の購買力を確保するための居住施設
- この地域に整備する施設の従業員のための居住施設

幹事会提案

### 近未来都市の整備や最先端の企業誘致の検討

福井県一のものづくり都市として更なる発展を目指すには、自動走行やドローン配送、キャッシュレス、自立エネルギー供給などの最先端技術を活用した近未来都市の整備や、AIやIoT関連のハイテク企業の研究部門やスマート製造ラインの誘致を検討することも有益

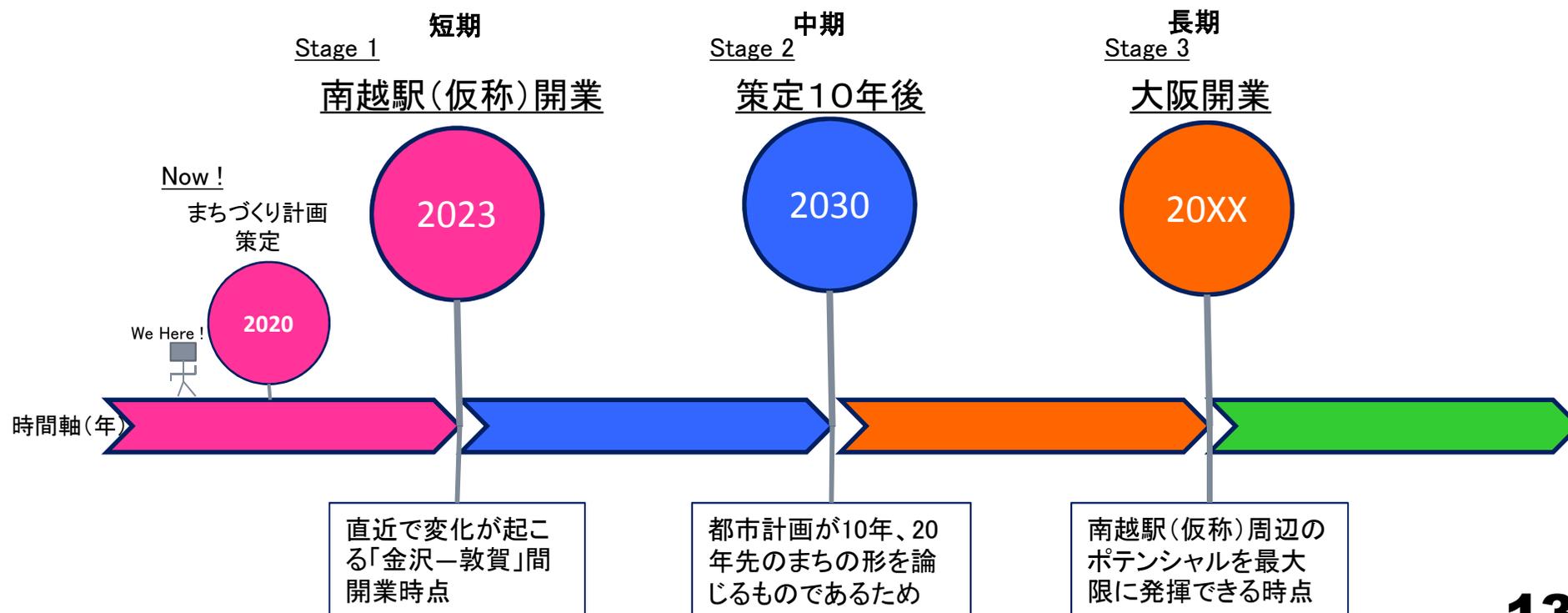
# まちづくり計画の時間軸について

5年、10年、20年、30年後の計画性が必要(美濃委員)

敦賀開業と大阪開業を見据えた段階的な整備構想が必要(小川委員)

幹事会提案

次の3局面を目標段階に設定してはどうか



# 民間事業者の可能性調査について

---

民間事業者の意欲をどのような形でつかみ開発誘導するのか(小川委員)

可能性調査についてコンサルタント等への委託は考えていないのか(南保委員長)

---

可能性調査を民間の専門事業者に発注  
令和元年6月上旬契約予定

幹事会提案

**短期**

駅周辺に必要な基本的機能

**中期**

可能性調査の状況を踏まえ、  
民間事業者の進出意欲を見  
極め、今後の議論を深めては  
どうか

↑  
共生のための機能

更なる女性の活躍に有益な機能

実現可能・持続可能のために必要となる機能  
↓

**長期**

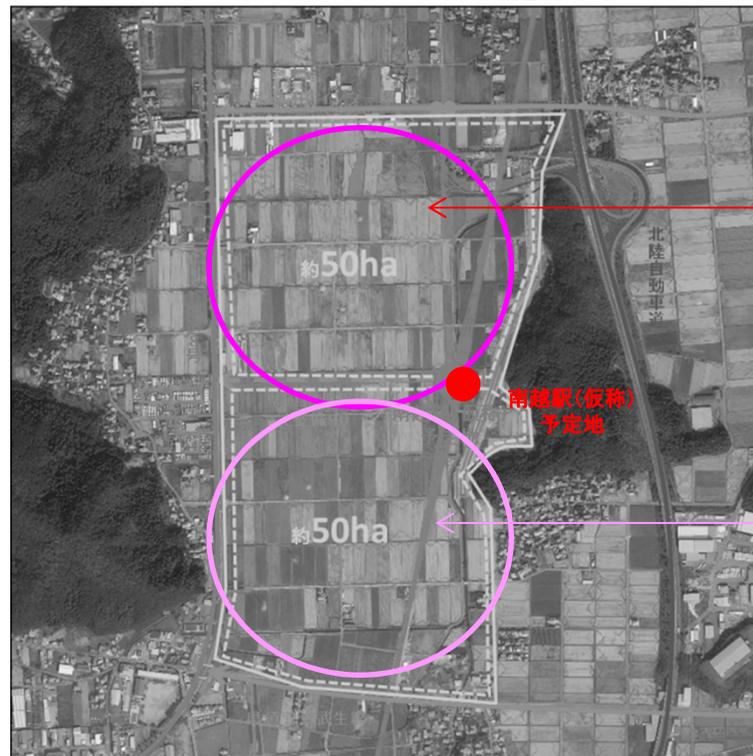
# まちづくり計画の対象区域について

虫食いの開発は防がなければならない(美濃委員)

ゾーニングや虫食い対策が大事(龍田委員)

幹事会提案

策定委員会で方向性を検討し、区域全体(約100ha)についてゾーニングによる一定のルールを設けてはどうか



検討の中心となる区域

南越駅(仮称)とICに挟まれポテンシャルが高い

北側の機能を補完・促進するための区域

# まちづくり計画の提案について

---

半分生のもので協議したい(山田委員)

---

幹事会提案

提案があれば、いつでも事務局に連絡をいただき、  
可能性調査の結果と委員案を取りまとめ、複合的な案を作成したい

**実現可能性・持続可能性を確認するために  
今後可能性調査に入り、第3回以降で論議**